

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO.84 平成27年7月号

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力して
設立した研究機関です

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6F
tel:092-733-5707 fax:092-733-5680 email: library@urc.or.jp

目次

◆URC資料室ニュース

- ①今月のおすすめ URC 職員によるリレーコラムの掲載開始! 1
- ②柏の葉アーバンデザインセンター出張報告 1

◆URCニュース

◆URC資料室ニュース

- ①香港から大学生の研修受入事業実施報告 2
- ②平成27年度 第1回都市セミナー開催報告 2
- ◆FDCニュース イノベーションスタジオ福岡 Project#3
スタート 3
- ◆マスコミでみるURCの今 3
- ◆「資料速報 平成27年6月受入分」 別添

①今月のおすすめ URC職員によるリレーコラムの掲載を始めました! 調整係長 馬場 孝徳

6月から、URC のホームページ上で、職員によるリレーコラム「Fukuoka Growth 2015-2016 GlobalCityStatus リレーコラム」の連載を開始しました。

毎月2回(8月・12月・1月は1回)、様々な情報発信をおこなっていきます。

福岡市の PR や都市の成長に寄与する内容をはじめ、職員それぞれの視点で、あらゆる角度から発信していきます。ぜひ、ご一読ください。

コラムは、当資料室で閲覧・貸出できます。



写真出展: URC 撮影 第1回目 畠山研究主査による、福岡の「食」に関するコラムのイメージ写真です。

②柏の葉アーバンデザインセンターへ行って来ました。 都市政策資料室 司書 山崎三枝

平成24年の11月当資料室で「アーバンデザインセンター—開かれたまちづくりの場—」(理工図書H24.9.25発行)を購入して以来、我が国最初の柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)へ行きたいとずっと思っていました。今、産学官民にわたる最先端のまちづくりの拠点で、図書資料がどのように取り扱われているか、確かめたかったです。

東京芝公園の機械振興協会で行われた専門図書館全国研究集会終了後、つくばエクスプレスで柏の葉キャンパス駅へ向かいました。秋葉原から約30分で到着です。駅の西口を出ると、すぐ右手に7階建ての東京大学駅前サテライト(フューチャーセンター)があり、その1階、最も駅寄りの一角が「柏の葉アーバンデザインセンター(=以下UDCK)」でした。

泊まりは東京大学駅前サテライトの奥、三井ガーデンホテル柏の葉で、柏の葉ゲートスクエアの一角、柏の葉スマートセンターがある「ホテル&レジデンス棟」で、



スマートシティの主要な施設の一つです。

UDCK における本の扱いは、少し寂しいものでした。オープンスペースの本棚に並べられているだけで、高い段の置かれたものは、書名

すら見えません。補助椅子に隠れているものもあり、貸出もしていませんでした。本は、出口センター長をはじめ、東大や千葉大の先生方とUDCKのスタッフが厳選したもので、グレードの高さは十分なものがあり、UDCKの活動報告「デザインブック」も所蔵されていました。

思いがけず目を引いたのは、三井ガーデンホテル柏の葉のエントランスでした。正面入り口に向かって、植物の緑の壁があり、その一角壁面に作り付けの木の本棚がホテルのフロントへ向かって配置されています。配架されている本の内容も自然界の森羅万象から芸術、都市づくり、人の暮らしに至るまで幅広く興味深いので、ホテルのフロントの職員に尋ねたところ、「株式会社バッハ」



はばよしたかの幅允孝氏の手

によるもので、壁面のデザイン、棚のサイズや高さ、本の種類や配置まで細かく計算され置かれていました。

この2つの機関を通じて、改めて本の内容のみならず、見せ方届け方の大切さを考える良い機会になり、今後の当資料室における展示の参考になりたいと思っています。

写真出展: URC 撮影

◆URCニュース

①香港の学生を対象とした福岡のまちづくり研修を終えて

常務理事 梶原信一



2015年6月22日に、香港高等科技教育学院 (Thei) の陳准教授と15人の学生のみなさんが、福岡市のまちづくりについて学ぶために当

研究所を訪れました。

きっかけは、当研究所に陳准教授から同教育学院の学生向けに福岡市のまちづくりに関する研修の相談があったことです。現在当研究所が行っている福岡市の公共施設等に海外からの視察を受け入れる国際視察研修受入事業は通常は1～2日程度の内容ですが、今回は、6月22日から26日まで5日間の日程で、福岡における都市計画、都市景観を学びたいとのことでした。

学生の授業の一環で1週間滞在型の視察研修を受け入れることはこれまで前例のないものでしたが、世界のおもてなし都市を目指し、交流拠点都市としてMICE (ビジネスなどの会議、研修等) 誘致を積極的に推進している福岡市として、せっかくの滞在していただく機会を逃してはならないということで、視察研修全般の調整を引き受けることにしました。

福岡での視察研修の内容は、陳准教授の希望を頻繁にメールのやりとりしながらなるべく実現できるよう詰めていき、最終的に「Fukuoka Study Visit」として次のようなプログラムを組みました。

- 1日目 午前：都市景観・緑化推進、午後：都心(天神)、シーサイドももち視察
- 2日目 午前：市街化調整区域・農山漁村振興、午後：アイランドシティ、志賀島視察
- 3日目 午前：御供所、祇園地区視察、午後：大宰府市訪問、市内視察
- 4日目 午前：ウォーターフロント、大名地区視察、午後：天神再開発ワークショップ
- 5日目 午前：糸島地区、九大伊都キャンパス視察、午後：研修総まとめ

このプログラムは、毎日の午前・午後の学習テーマを決

めて、座学や視察を組み、徒歩、公共交通機関主体の移動で、計40時間と結構ハードな研修ですが、福岡市をはじめ、関係機関の協力のもと、幸いに特に問題もなく、計画どおり研修を終えることができました。

また、研修の実施内容についても、アンケート結果によれば、全体的に満足していただけたようです(非常に満足・満足を合わせた割合が大体90%～100%)。学生たちの自由意見では、座学よりも、視察で現地を直接見たいという要望が多く、また、4日目の午後に実施したワークショップは、福岡市の都心部再開発というテーマで、実際に都心部の地図をベースに計画をデザインしていく作業を行いました。専門家のアドバイスを交えての計画づくりに、学生



たちは非常に熱心に取り組み、満足度も非常に高い結果となりました。これらことから、今回実施した学生向けの視察研修の場合、座学はポイントを絞り短時間とし、現地視察や参加型の研修を中心とした実践型プログラムが好まれるということが分かりました。

さて、香港は、人口700万人以上で都市ランキングでも常に上位に位置するアジアを代表する大都市です。そのような都市で生活している彼らから見た福岡はどのようなものだったのでしょうか。そこで、香港チームのみなさんに福岡で印象に残ったところを発表してもらいました。学生たちは、香港でもみられる都会的な部分よりも、福岡のまちの文化や伝統が感じられるところ、路地などにみられる植栽や清潔さも含めた日本的な風景などが強く印象に残ったようでした。我々にとって当たり前の日常的なまちかどの風景に、香港と違う日本のまちのあり様を感じたようです。

これから海外との交流がますます進んでいくと思いますが、海外の人から福岡を印象に残ったまちとするためには、日本らしさ、福岡らしさとなる、ハード、ソフト両面でまちのアイデンティティともいえるべきものを大切にしていかなければと改めて思いました。

②平成27年度第1回都市セミナー「福岡のグローバル交流

拠点形成」を開催しました。

6月29日月曜日、FUKUOKA INNOVATION WAVEの第8弾として、『人と人との交流からビジネスが生まれる！福岡のグローバル交流拠点形成』と題した都市セミナーを開催しました。

最初に、東京で5月に開催された国際不動産



フォーラム「MIPIM JAPAN」のプログラムの一つ、ビジネスツーリズムに関して、同所での発表内容等を、野田順康特別研究員が、続いて、国内外の都市づくりと交流に関する事例等を、福岡地域戦略推進協議会フェローの榎本拓真氏がそれぞれ講演。更に、久保隆行上席主任研究員による昨年度総合研究「『第3極』の都市」の報告も行われ、参加者の皆様も熱心に聞き入っていました。

◆FDCニュース

イノベーションスタジオ福岡 Project#3 「隠れた資源のデザイン」が始まりました！



イノベーションスタジオ福岡 Project#3 「隠れた資源のデザイン」をスタートしました！

「イノベーションスタジオ福岡」は、福岡地域戦略推進協議会(以下、FDC)が福岡市の協力を得て運営する、新事業創出プロジェクトです。福岡の多様な人材と福岡内外の企業が「人材の交流」によって革新的なビジネスアイデアを創出し、創業・第二創業といったスタートアップにつなげていく特区に選ばれた福岡ならではの約6ヶ月の取り組みです。

その第3弾プロジェクトとして、2015年6月より「隠れた資源のデザインー思いがけない組み合わせからイノベーションを導くー」と称して、一般公募による約40名と、パートナー企業から6名の参加者が一体となり、

た。3人の登壇者により、客観的な視座から福岡の特長や為すべき事等が示され、グローバルな交流とその拠点形成を重視した、都市の成長に対する理解やヒントが得られたものと思います。

なお、セミナー当日の資料は、近日、当研究所ホームページにアップ予定ですので、ご参照ください。

*写真出典：URC撮影 (白浜康二 主任研究員)

身の回りの注目されていない資源を活用したビジネスを創出していきます。プロジェクト全体を支援するThought Leaderと呼ばれるゲストには、東京R不動産ディレクターの馬場正尊さん(集合写真 最前列中央)や、嘉穂無線株式会社副社長柳瀬隆志さんのほか、日本を代表するライブラリアンである岡本真さん(集合写真 最前列右)をお招きしています。講評では、岡本さんからチームへ、「福岡には日本有数の都市専門図書館がある。これも隠れた資源と思ってこのプログラムで使ってほしい」と都市政策資料室にエールが送られました。

これから約2か月、「文化」「高齢者」などの10のチームがそれぞれのテーマでリサーチを進め、新たなビジネスの種となる課題を探していきます。



*写真出典：FDC撮影 (原口唯 FDCスタッフ)

マスコミでみる「URC」の今！ -最近1か月の情報を中心に-

◎新聞

(2015/7/3 読売新聞 夕刊 9p)

認知症対策に投資活用 学習療法で介護費減なら配当 福岡市など社会実験
FDCが公文教育研究会と日本財団が協力して行う社会実験の活動が紹介される。

(2015/6/30 西日本新聞 朝刊 24p)

故郷歩き理解深める 西区・愛宕小

当研究所OBの大塚政徳さんが事務局長を務める「唐津街道姪浜まちづくり協議会」等が小学生にまち歩きを案内

(2015/6/27 山形新聞 朝刊 2p)

長井市 地方版総合戦略策定へ初会合 人口推計、骨子案示す「転出理由ヒントに」
当研究所OB山本匡毅さんが「長井創生会議」の委員に委嘱される。

(2015/6/24 神奈川新聞 15p)

i バザール 展覧会/カナガワビエンナーレ国際児童画展(横浜)

市民研究員OB藤浩志さんの8月1日講演会予告

(2015/6/22 西日本新聞 朝刊 7p)

文化 街、建物、場……何かを「いじる」アートプロジェクト 実践者が語り合う 来月 4,5 日に福岡市でセミナー/市民研究員 OB 藤浩志さんが「場」について語り合うイベントの開催予告

(2015/6/20 西日本新聞 夕刊 2p)

わたし活性化計画 「余白」つくってますか 境界にとらわれず柔軟な考え方を FDC フェローの西田明紀さんが執筆

(2015/6/13 観光経済新聞 11p)

伊香保の公園など 3 部門 16 件を表彰 都市景観大賞【景観教育・普及啓発部門】大賞＝地域の誇り & 街並み育てプロジェクト～姪浜の宝を福岡市民の宝に！～（福岡市唐津街道姪浜地区）
当研究所 OB の大塚政徳さんが事務局長を務める「唐津街道姪浜まちづくり協議会」が都市景観大賞を受賞（*印＝以下同じ）

(2015/6/13 東京新聞 朝刊 21p)

Campus インフォメーション 専修大 法政大 公開講演会「東北地方における新産業の集積形成ー航空機産業と医療機器産業を事例にして」/当研究所 OB 山本匡毅さんが講師を務める講演会の開催予告

(2015/6/13 東京読売新聞 朝刊 30p)

これが現代アートだ 21 世紀美術館 金沢の小 4 に美術体験＝石川
市民研究員 OB 藤浩志さんの活動が紹介される。

(2015/6/13 日本経済新聞 地方経済面 東北 2p)

山形、航空機産業で飛躍を、山本・山形大准教授に聞くー20 社が新規参入、増産で受注機会
当研究所 OB 山本匡毅さんが新聞社のインタビューに応える。

(2015/6/12 西日本新聞 朝刊 32p)

福岡アジア都市研究所の都市セミナー/本年度第 1 回目の都市セミナー開催予告

(2015/6/6 毎日新聞 朝刊 20p)

都市景観大賞に輝く 唐津街道姪浜まちづくり協議会 町家守る独自認定制度など策定 *

(2015/6/5 西日本新聞 朝刊 31p)

天神まち歩き/市民研究員 OG 井上光枝さんが案内を務める「まち歩きイベント」の開催予告

(2015/6/2 日本経済新聞 朝刊 31p)

九州 この人に聞く 福岡に MICE 着々 街づくり具体化進める
FDC の石丸修平事務局長がインタビューに応える。

◎雑誌

(2015/7/1 ふくおか経済 2015 年 7 月号 vol. 323)

195~196p 福岡のビジネス最前線！！業界 NEWS ダイジェスト①人事 新局長に石丸修平ディレクター
福岡地域戦略推進協議会/ FDC の石丸修平新事務局長が紹介される。

(2015/6/25 Please 2015 年 7 月号 No.338)

10~11p 桜島を遊ぶ ここだけの体験を火の島「桜島」で！ 桜島天然温泉堀ツアーー自作の湯船でゆったり
のんびり足湯を満喫♪

当研究所 OB の野口誠さんが NPO 法人桜島ミュージアムでツアーガイドを務める活動が紹介される。

(2015/6/20 財界九州 2015 年 7 月号 No.1090)

144p 九州活性化をけん引！！Fukuoka2015～国家戦略特区を生かし、アジアにおける真の拠点都市に
誰もがチャレンジできるまち「FUKUOKA」を実現 新たな空間と雇用を創出する「テンジンビッグバン」始
動/当研究所の「天神ビッグバン」の経済効果試算が引用される。

206p 自治体トピックス FROM KYUSHU OKINAWA FROM FUKUOKA CITY 福岡市
唐津街道姪浜まちづくり協議会 都市景観大賞を受賞 *

◎ラジオ

(2015/6/28 ローカルラジオ放送 こみてん「大名セントラルパーク」19:00~19:55)

久保隆行 上席主任研究員がゲストとして出演、仕事内容や福岡の今後、課題などについてトーク

(2015/5/17 ローカルラジオ放送 こみてん「福岡移住計画ラジオ」16:00~16:55)

久保隆行 上席主任研究員がゲストとして出演、『「第 3 極」の都市』の報告書についてトーク

◎ネットニュース

(2015/6/25 マチノコト トピックス)

福岡は世界の類似都市とどう違うかー都市の国際競争力向上のためにベンチマークすべき「第 3 極」都市
とは/『「第 3 極」の都市』の報告書が紹介される。